

脳血管障害
自動車事故

急性期
受傷・発症

治療

リハビリ・療養期
症状固定

後遺障害

社会復帰
地域復帰

高次脳機能障害は、外見からは分かりにくく、事故からしばらくして日常生活に戻った
ころに症状に気が付くことがあります。病院で身体の治療・リハビリが終了していても、
福祉サービスを利用して、身体機能や認知機能の訓練を続けることができます。



地域生活を
バックアップ

奈良県障害者総合支援センター自立訓練センター 高次脳機能障害に対応した自立訓練（福祉サービス）

身体機能に特化した機能訓練

ただ“歩く”だけを目的とせず、社会に復帰したときに必要な
体力・移動手段・日常生活動作スキルなどの獲得に向けた総合的な
身体機能訓練を提供します。

抗重力の考え方に基づいた
身体機能訓練

提供している訓練

基礎体力に特化した訓練

歩行訓練
マット訓練
PT訓練

応用訓練

ADL・IADL訓練

ADLグループ訓練
実践移動訓練
OT訓練

個別脳トレ
パソコン
ツールペイント



訓練作品
（切り絵）



認知機能に特化した生活訓練

注意障害・記憶障害・遂行機能障害それぞれへのアプローチだ
けでなく、それらの認知機能を支える身体機能へアプローチをす
ることで、脳の機能への総合的な訓練を提供します。

神経心理ピラミッドに基づいた
全人的アプローチ

提供している訓練

認知機能低下に特化した訓練

自己の
気づき
遂行機能
記憶
情報処理
注意力・集中力
抑制・発動性
覚醒・心的エネルギー

応用訓練

個別脳トレ
パソコン
ツールペイント

グループ脳トレ
注意
記憶
遂行

認知機能を支える
身体機能訓練

歩行訓練
マット訓練
OT訓練



* 出典：ニューヨーク大学「ラスク研究所」